

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		081200	081200	04-2991-1813
事業コード	健康づくり推進事業	担当	健康づくり支援課	
081203		グループ	健康づくり第2G	
開始年度	平成18年度	終了年度	年度	

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	健康日本21所沢市計画、所沢市食育推進計画、地域福祉計画、子ども・子育て支援事業計画、高齢者福祉計画・介護保険事業計画、健康増進法			健康増進法
	関連・類似事業	健康教育、健康相談、健診事後指導、機能訓練、訪問指導、食生活改善推進、成人歯科健康教育・健康相談等			
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 保健・医療	基本方針	地域保健対策の推進
事業開始の背景	平成12年3月、国の提唱した「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」に基づき、埼玉県では、「すこやか彩の国21プラン」を策定。本市でも、平成18年3月「健康日本21所沢市計画～健康とこころ21～」を策定し、計画に基づき、市民一人ひとりの健康づくりを社会全体で支えていくための施策を展開。平成23年4月から「第2次健康日本21所沢市計画～健康とこころ21～」がスタートし、ライフステージごとの健康課題解決に向けた健康づくり事業を展開している。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	市民一人ひとりが、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、生涯にわたり、自らの健康状態を自覚し健康増進に取り組めるようにするために、行動計画に基づき健康づくり運動を推進する。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	342,564 人
	全市民			平成 27 年度	343,067 人
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>「第2次健康日本21所沢市計画」推進のため、計画における「5つのライフステージ」の各行動目標及び行動計画に基づく事業を実施。</p> <p>(1)乳幼児期：生活リズム等に関するパンフレットを乳幼児健診などで配布・情報提供。市民ボランティアの協力を得て、乳児期に適したあそびや絵本の読み聞かせについての紹介。また、ボランティアに対する研修会を実施。</p> <p>(2)児童・生徒・学生期：新小学1年生保護者向けの健康パンフレットを配布。保健センター事業を紹介する教育媒体を作成・配布</p> <p>(3)青・壮年期：小規模事業所への健康情報紙を配布や自動血圧計の無料貸し出し・健康教育を実施。働く世代を対象とした健康チェック・健康情報機会の提供「所沢市地域・職場保健連携会議」を開催</p> <p>(4)中・高年期：「シニア向け子育て講演会」やウォーキングイベント、健康教室の開催。三世交代の取り組みの推進</p> <p>(5)みんなだれでも：障害理解を深めてもらうことを目的としたニュースレターの発行。ホームレス巡回相談を実施</p>				

経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		2,888	1,401	1,467
	決算(見込み含む)		2,528	1,044	
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費	4.00 人	34,884	2.97 人	25,720
	事業費合計		37,412	26,764	
財源内訳	一般財源	37,412	26,764	1,467	
	国・県支出金	0	0		
	その他()	0	0		

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	推進会議の開催	推進会議の実施回数	回	56	53	30	50
		学習活動の開催	学習活動の実施回数	回	337	198	200	400
		学習活動の参加者	学習活動の参加者数	人	10,068	7,899	8,000	11,000

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	朝の目覚めが快適な市民の割合	市民意識調査の結果	%	目標値 82	85	70	85
					実績 60	59	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	73	70	どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	「疾病の予防」「重症化予防」「将来に亘る市民の健康づくりの継続」を目指し、予防的視点をもった取り組みを推進している。昨年実施した市民健康生活調査の結果を踏まえ、ライフステージごとの健康課題を分析・整理し、平成28年3月策定の保健医療計画に反映した。また、健康課題を市民と共有でき、関心が深められるよう啓発用のリーフレットの作成した。	平成18年に「健康日本21所沢市計画～健康とこころ21～」策定後、一貫して朝の目覚めを健康のパロメーターとして取り組みを推進してきたが、目覚めの良い市民の割合は6割程度と少なく、他の指標とも並行して評価することも含め、検討が必要と考えられる。

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	ライフステージごとの健康課題と地区の健康課題をクロスさせ、内容や実施方法の改善・効率化を図りつつ、目標指標が達成できるよう取り組みを推進していくことが必要と考えられる。
		次年度予算 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	少子高齢化が進む中、健康に関する関心・ニーズはますます高まると考えられる。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
	これまで推進してきたライフステージごとの取り組みを継続するとともに、ライフステージごとの健康課題を分析・整理した啓発用のリーフレットを保健事業やイベントにて積極的に配布し周知に努めている。		地区保健活動の充実や各地区ごとの健康課題を分析・整理した媒体も作成もすすめている。	
評価日	H28.8.12	評価者職氏名	健康づくり支援課 課長 淵江 弘行	

環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無